

(1) 技術・情報交流

a. シンポジウム

日時・場所	内容等
<p>R4. 7. 19 (火) 13:30～17:30 場所：ホテル熊本テルサ 参加者：92名 (産：22名/学：21名/官：49名)</p>	<p>テーマ：「令和2年7月豪雨からの復興に向けて」</p> <p>■第1部 基調講演 1 「令和2年7月豪雨被害の状況及び未来型復興について」 人吉市長 松岡 隼人 氏 基調講演 2 「豪雨災害の教訓と復興まちづくり」 球磨村長 松谷 浩一 氏</p> <p>■第2部 事例報告 1) 「早期復旧に向けた仮橋の検討」 熊本大学 くまもと水循環・減災研究教育センター 教授 松村 政秀 氏 2) 「フェーズフリーな防災DX施策について（平時からの取り組みで『逃げ遅れゼロ』に挑戦）」 日本電気株式会社 スーパーシティ事業推進本部 シニアエキスパート 橋本 研一郎 氏 3) 「迅速な応急仮設住宅供給のための自動設計システムの開発」 大和ハウス工業株式会社 東京本社 技術本部建設デジタル推進部 次長 宮内 尊彰 氏 4) 「コロナ禍での災害～人吉球磨地域の保健・医療・福祉対応」 熊本県 菊池保健所 所長 剣 陽子 氏 5) 「八代市坂本町の歴史的建造物の復興」 熊本高等専門学校 生産システム工学科 教授 森山 学 氏 6) 「球磨村の再生可能エネルギーで走る電動スクールバス実証事業について」 熊本大学 先端科学研究部 シニア准教授 松田 俊郎 氏</p> <p>■第3部 令和2年7月豪雨からの復興に向けたパネルディスカッション</p>

b. 月例フォーラム

回	日時・場所	講師・演題
第356回	<p>R4. 4. 21(木) 14:00～17:30 場所：KKRホテル熊本 (会場+オンライン配信) 参加者：45名</p>	<p>テーマ：「技術検討会事業報告」</p> <p>■技術検討会終了報告 「ローカル5G」 世話役：株式会社電盛社 富松 篤典 氏 株式会社構造計画研究所 坂木 啓司 氏 「ロボット活用」 世話役：熊本県産業技術センター 道野 隆二 氏</p> <p>■技術検討会活動紹介 「オープンソース活用」 世話役：平田機工株式会社 松村 道孝 氏 「電動モビリティ」 世話役：熊本大学大学院先端科学研究部 松田 俊郎 氏 崇城大学情報学部情報学科 西嶋 仁浩 氏</p> <p>■助成金・施策説明</p>
第357回	<p>R4. 7. 19 (火) 13:30～17:30 場所：ホテル熊本テルサ</p>	a. シンポジウムを参照
第358回	<p>R4. 9. 9 (金) 13:30～16:15 場所：KKRホテル熊本 (会場+オンライン配信) 参加者：94名</p>	<p>テーマ：「九州における半導体関連の人材育成」</p> <p>1) ビデオメッセージ 国立高等専門学校機構 理事長 谷口 功 氏 半導体人材育成 ～九州地区を中心とする始動から全国展開へ～</p> <p>2) 佐世保高専と熊本高専での半導体人材育成の取り組み 佐世保工業高等専門学校 校長 中島 寛 氏 熊本高等専門学校 校長 高松 洋 氏</p> <p>3) 熊本大学半導体研究教育センターの活動紹介 熊本大学半導体研究教育センター センター長 青柳 昌宏 氏</p> <p>4) 始動する半導体工学副教育プログラムにおける科目事例（半導体工学） 熊本大学大学院 先端科学研究部 教授 中村 有水 氏</p>

第359回	R4.10.25 (火) 13:30～17:10 場所：ホテルパルコ熊本 参加者：88名	<p>テーマ：「気候変動とエネルギーの今後、車両電動化の最新動向」</p> <p>第1部 基調講演 気候変動とエネルギーの自活について 東京電力ホールディングス(株) フェロー 姉川 尚史 氏</p> <p>第2部 講演：車両電動化の最新動向</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) モビリティと太陽光発電の融合がもたらす価値 崇城大学 情報学部 情報学科 電子通信コース 准教授 西嶋 仁浩 氏 2) 走行中非接触給電に向けたデンソールの取り組み 株式会社デンソー まちづくりシステム開発部 エレクトリフィケーションシステム 製品創造室 課長 山口 宜久 氏 3) 球磨村の再生可能エネルギーで走る電動スクールバス実証事業について 熊本大学 大学院 先端科学研究部 シニア准教授 松田 俊郎 氏 4) 電動小型低速モビリティの活用状況および自動運転を活用した今後の展望 ヤマハ発動機株式会社 技術・研究本部 研究開発領域担当フェロー 飯田 実 氏 5) 地域におけるグリーンスローモビリティ等の活用 T-PLAN株式会社 取締役副社長 佐藤 篤司 氏 <p>第3部 全体質疑、論議</p>
第360回	R4.11.10 (木) 14:00～17:15 場所：熊本県産業技術センター 参加者：32名	c. RIST共催事業を参照
第361回	R.12.9 (金) 14:00～16:50 場所：TKP熊本カンファレンスセンター 参加者：23名	<p>テーマ：熊本城の復旧・復興とそれを支える最新テクノロジー</p> <p>□</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 熊本城～復旧の現状 熊本市 文化市民局 熊本城総合事務所 副所長 濱田 清美 氏 2) 熊本城天守閣の復旧工事で適用された技術の紹介 株式会社大林組 設計本部構造設計部 九州構造設計課 課長 堂地 利弘 氏 3) 3次元画像認識技術を用いた熊本城石垣照合システムの開発 熊本大学大学院 先端科学研究部 教授 上瀧 剛 氏 4) 熊本城天守閣の3次元データ化とその活用 株式会社構造計画研究所 デザイン工学部 建設デザイン室室長 高橋 将幸 氏

c. R I S T 共催事業

熊志会と若手研究者交流会

日時・場所	内容等
R4.11.10 (木) 14:00～17:15 場所：熊本県産業技術センター 参加者：32名	<p>第一部</p> <ul style="list-style-type: none"> ○熊本県産業技術センター設備見学 (※RIST・熊志会会員限定) 機械加工、材料分析・測定、食品関連など <p>第二部</p> <ul style="list-style-type: none"> ○熊本県産業技術センターの研究・支援事例紹介 <ul style="list-style-type: none"> ・「熊本県産業技術センターの紹介」 次長 森山 芳生 氏 ・「SDGsを志向した多糖ナノファイバーによる次世代パワー半導体高速研磨液の開発」 材料・地域資源室 室長 永岡 昭二 氏 ・「フロントローディングを可能にするCAE技術者の育成事例」 ものづくり室 研究参事 濱嶋 英樹 氏 ・「質量分析と多変量解析法を利用した製品の特徴把握」 食品加工技術室 研究参事 佐藤 崇雄 氏 ・「製造業務を下支えする業務のDX支援事例」 技術交流企画室 研究主任 渡辺 秀典 氏 ・「デザインで課題解決 ～デザインと活用事例の紹介～」 技術交流企画室 研究主任 石橋 伸介 氏